

2018年9月27-29日に東京大学にて開催された第19回国際製薬医学大会(ICPM2018)・第9回日本製薬医学会(JAPhMed2018)に先立ち、ICPM2018大会長の今村恭子先生のインタビューが薬事日報(7/9)に掲載されました。



今村恭子先生は、東京大学大学院薬学系研究科ファーマコヒジネス・イノベーション特任教授として活躍されています。

「医薬品開発の将来」テーマに

第19回国際製薬医学大会 9月27、28日に開催

今村恭子大会長(東京大学大学院薬学系研究科ファーマコヒジネス・イノベーション特任教授)に聞く

第19回国際製薬医学大会(ICPM)が9月27、28日の両日、「医薬品開発の将来」をテーマに、東京大学の東京大学医務国際センターで開かれ、日本製薬医学会(JAPhMed)も2年に一度の世界製薬医学大会として開催される。日本製薬医学会会長で世界医師会会長でもある横倉武先生の来賓スピーチに続き、世界医師会オットマークロイ

メインプログラムは ワークショップ形式で

——日本で初開催となる国際製薬医学大会(ICPM)は、日本製薬医学会(JAPhMed)と世界医師会(WMA)の連携により、日本製薬医学会の協賛で開催される。日本製薬医学会の協賛で開催される。日本製薬医学会の協賛で開催される。

が話題になっていて、ICPMが、ビジュアルを活用した医薬品開発の時代に備えて、いまの急務とされている。ICPMの開催に、日本製薬医学会の協賛で開催される。日本製薬医学会の協賛で開催される。

が話題になっていて、ICPMが、ビジュアルを活用した医薬品開発の時代に備えて、いまの急務とされている。ICPMの開催に、日本製薬医学会の協賛で開催される。日本製薬医学会の協賛で開催される。

が話題になっていて、ICPMが、ビジュアルを活用した医薬品開発の時代に備えて、いまの急務とされている。ICPMの開催に、日本製薬医学会の協賛で開催される。日本製薬医学会の協賛で開催される。

が話題になっていて、ICPMが、ビジュアルを活用した医薬品開発の時代に備えて、いまの急務とされている。ICPMの開催に、日本製薬医学会の協賛で開催される。日本製薬医学会の協賛で開催される。

が話題になっていて、ICPMが、ビジュアルを活用した医薬品開発の時代に備えて、いまの急務とされている。ICPMの開催に、日本製薬医学会の協賛で開催される。日本製薬医学会の協賛で開催される。

シンポジウムは2題 早期承認体制でも議論

シンポジウムは2題、早期承認体制でも議論。シンポジウムは2題、早期承認体制でも議論。シンポジウムは2題、早期承認体制でも議論。

シンポジウムは2題、早期承認体制でも議論。シンポジウムは2題、早期承認体制でも議論。シンポジウムは2題、早期承認体制でも議論。

シンポジウムは2題、早期承認体制でも議論。シンポジウムは2題、早期承認体制でも議論。シンポジウムは2題、早期承認体制でも議論。

シンポジウムは2題、早期承認体制でも議論。シンポジウムは2題、早期承認体制でも議論。シンポジウムは2題、早期承認体制でも議論。

シンポジウムは2題、早期承認体制でも議論。シンポジウムは2題、早期承認体制でも議論。シンポジウムは2題、早期承認体制でも議論。

シンポジウムは2題、早期承認体制でも議論。シンポジウムは2題、早期承認体制でも議論。シンポジウムは2題、早期承認体制でも議論。

シンポジウムは2題、早期承認体制でも議論。シンポジウムは2題、早期承認体制でも議論。シンポジウムは2題、早期承認体制でも議論。

シンポジウムは2題、早期承認体制でも議論。シンポジウムは2題、早期承認体制でも議論。シンポジウムは2題、早期承認体制でも議論。

シンポジウムは2題、早期承認体制でも議論。シンポジウムは2題、早期承認体制でも議論。シンポジウムは2題、早期承認体制でも議論。

シンポジウムは2題、早期承認体制でも議論。シンポジウムは2題、早期承認体制でも議論。シンポジウムは2題、早期承認体制でも議論。

シンポジウムは2題、早期承認体制でも議論。シンポジウムは2題、早期承認体制でも議論。シンポジウムは2題、早期承認体制でも議論。

(薬事日報社より転載許諾済)

2年に一度に開催される国際学会 ICIM は「医薬品開発の将来」をテーマとして、世界医師会会長の横倉武先生、厚生労働省鈴木康裕医務技監をお招きし、盛大に開催されました。